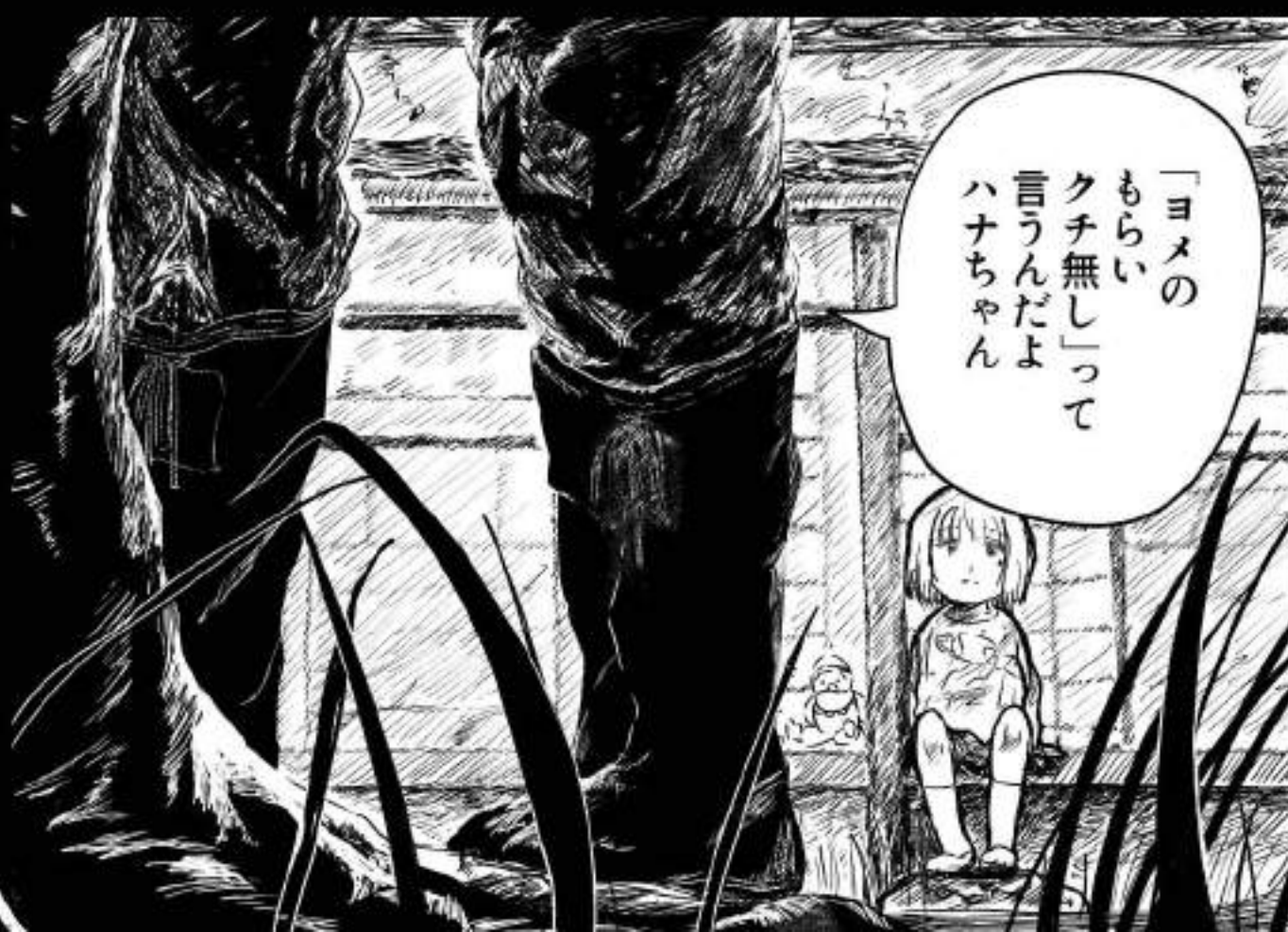
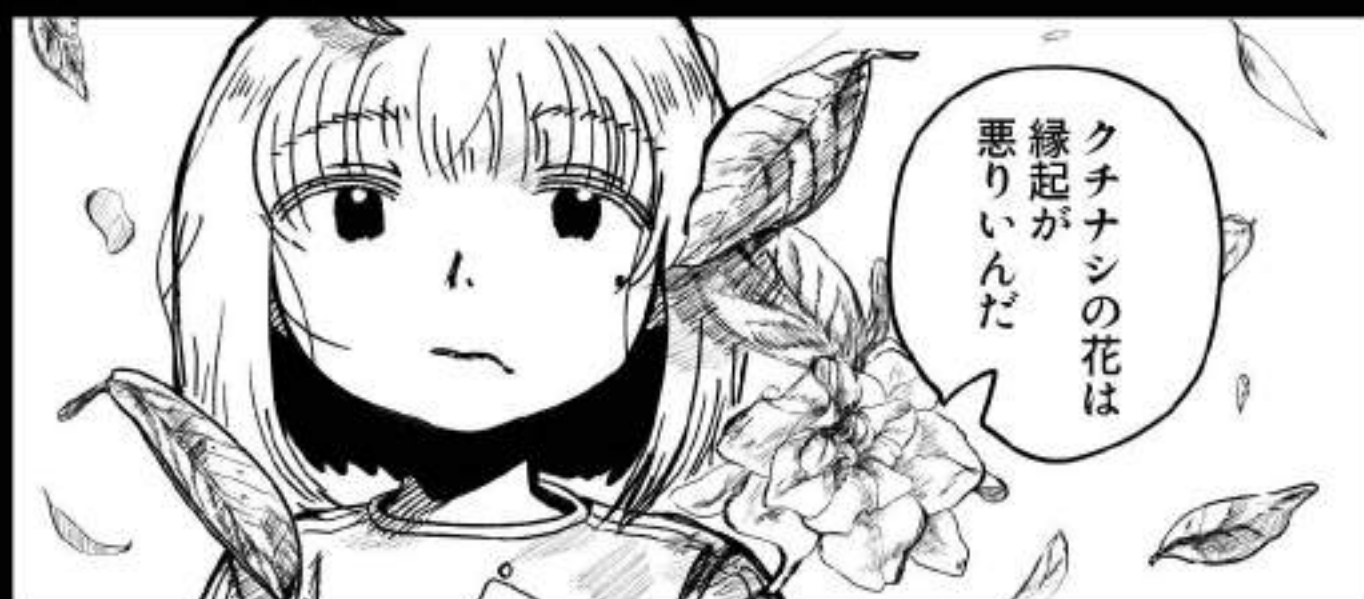


クチナシの花嫁








私は……





無理でしょ

くちなしの
花嫁の



作者注

本作品ではあらゆるマイノリティへの差別構造がある現状を描くため、一部暴力表現や、精神的なストレスを感じられる可能性のある場面の描写を含みます。



8/14

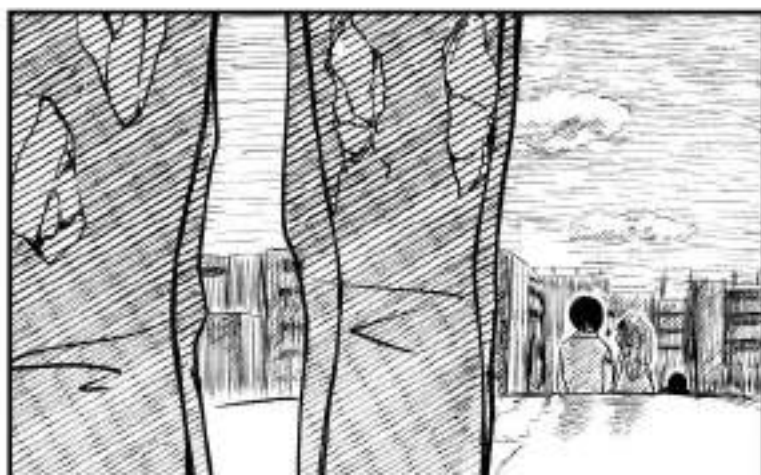
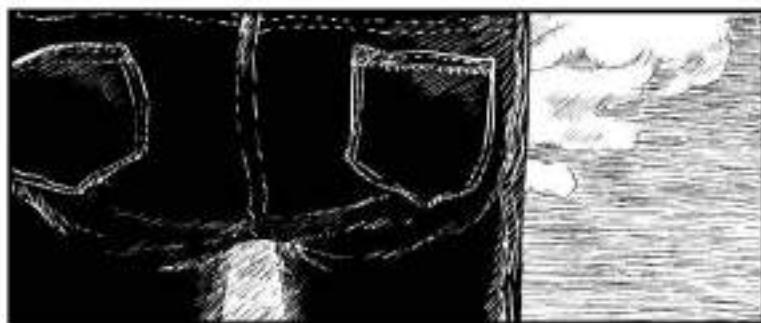
桜花亭

品名	数量	単価	金額
180分			18500
OP(10%外販)			8000
110分			23000
			10000



新郎さま
新婦さま
こちらへ

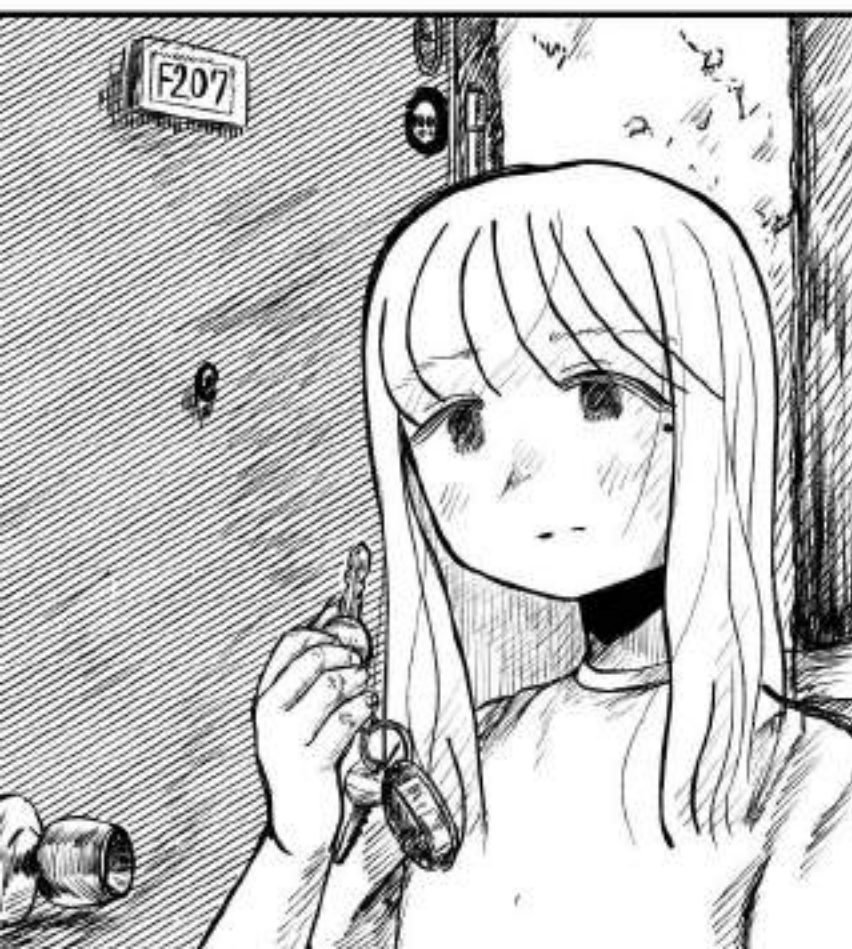


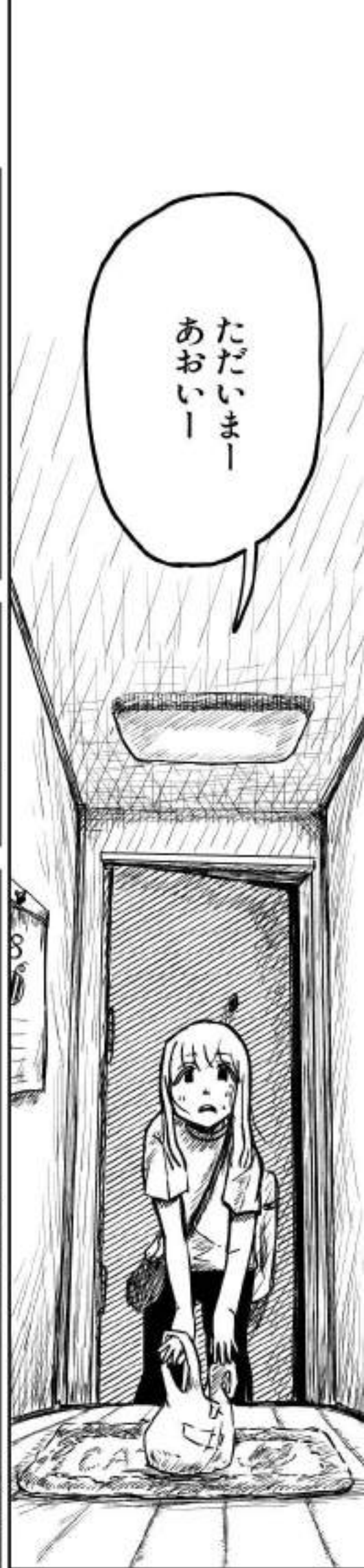


結婚。



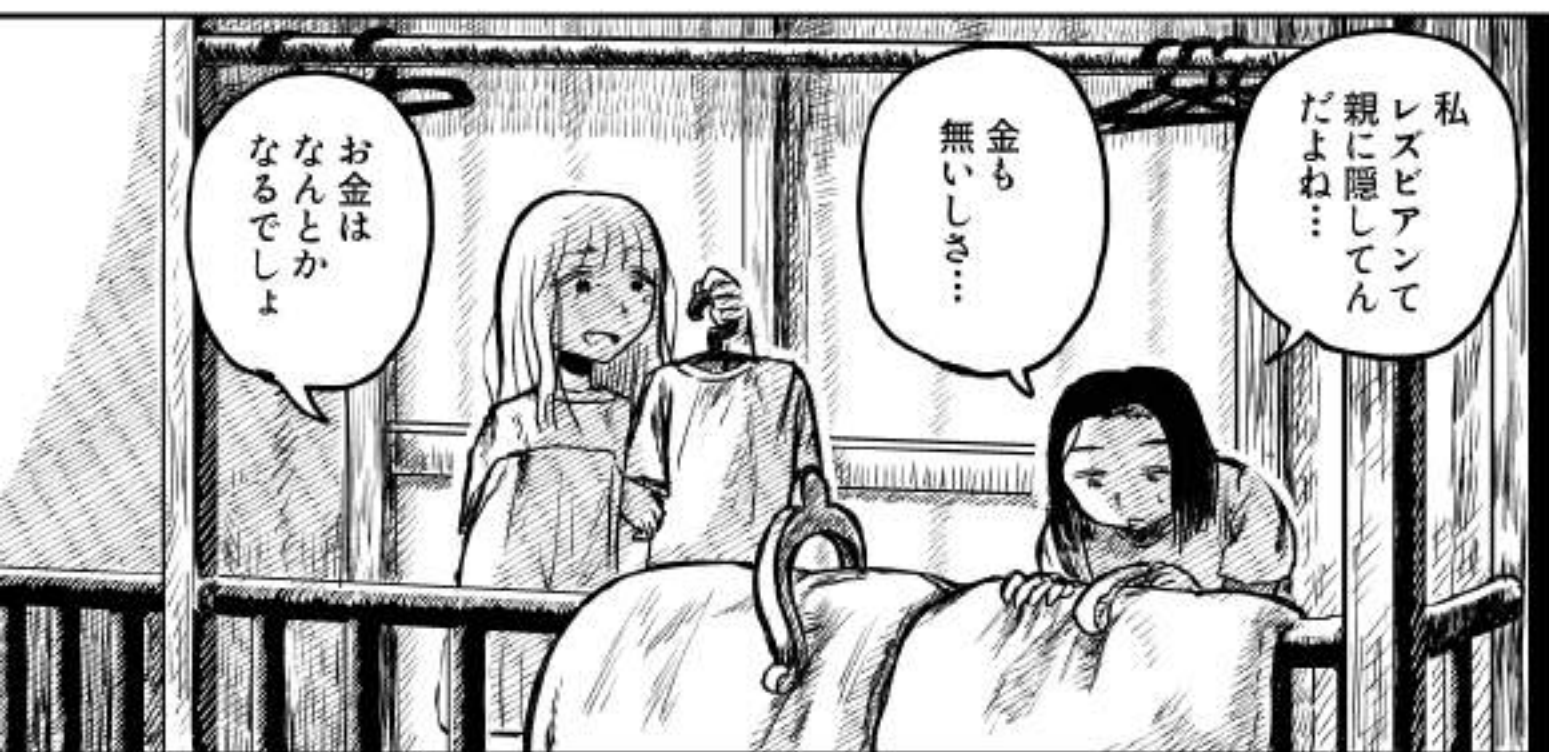
お買物計
1491円です

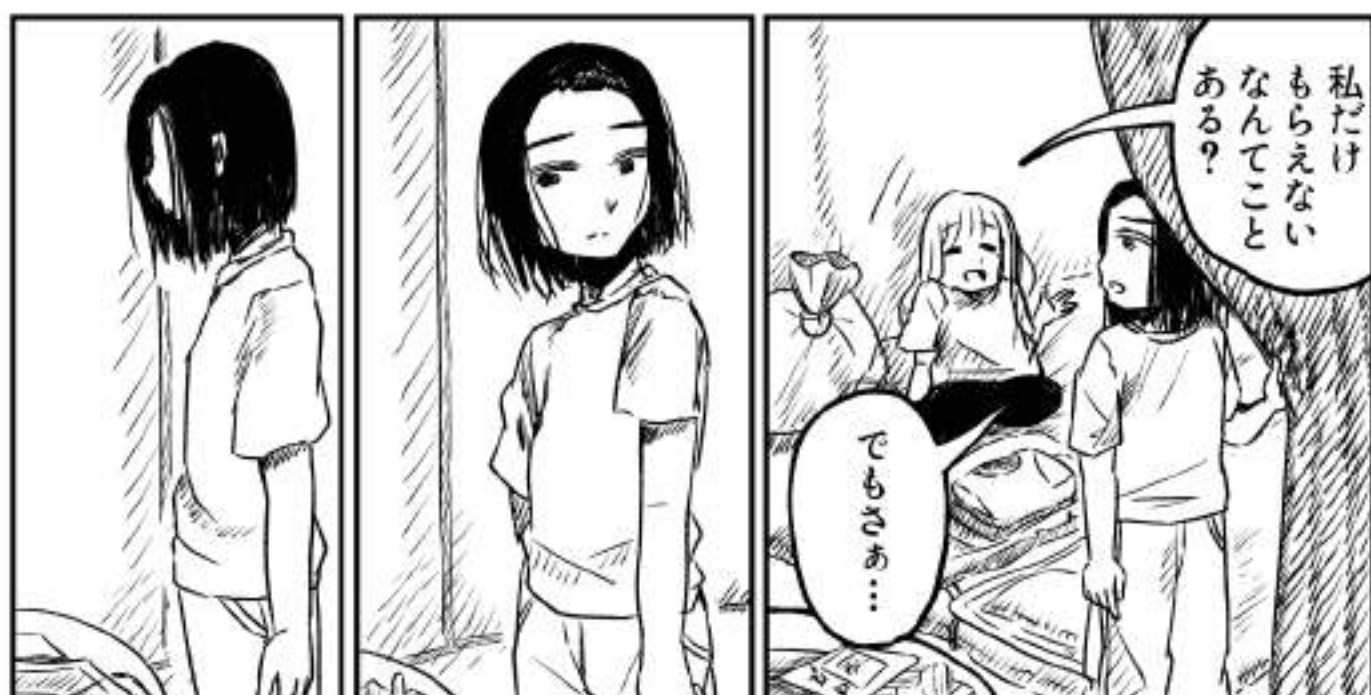




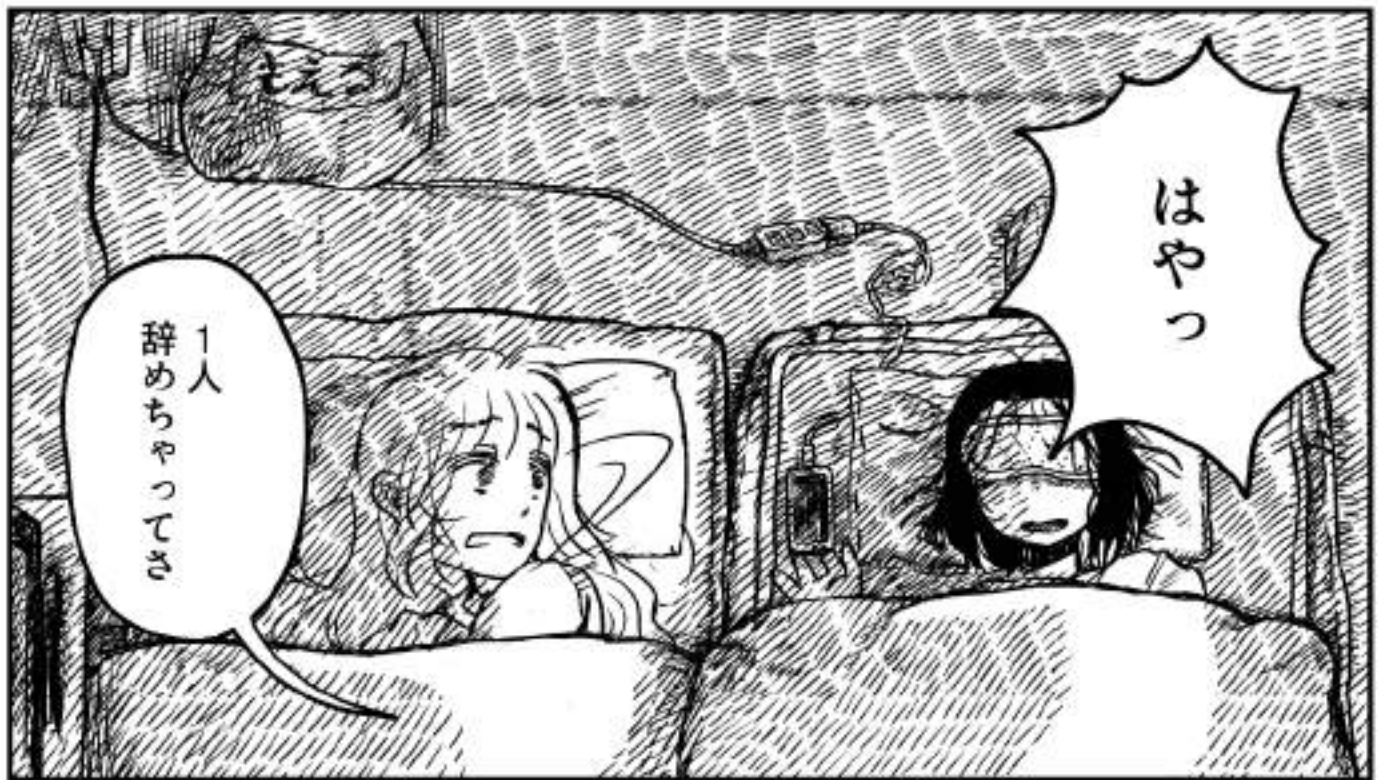
















黙っていようよ



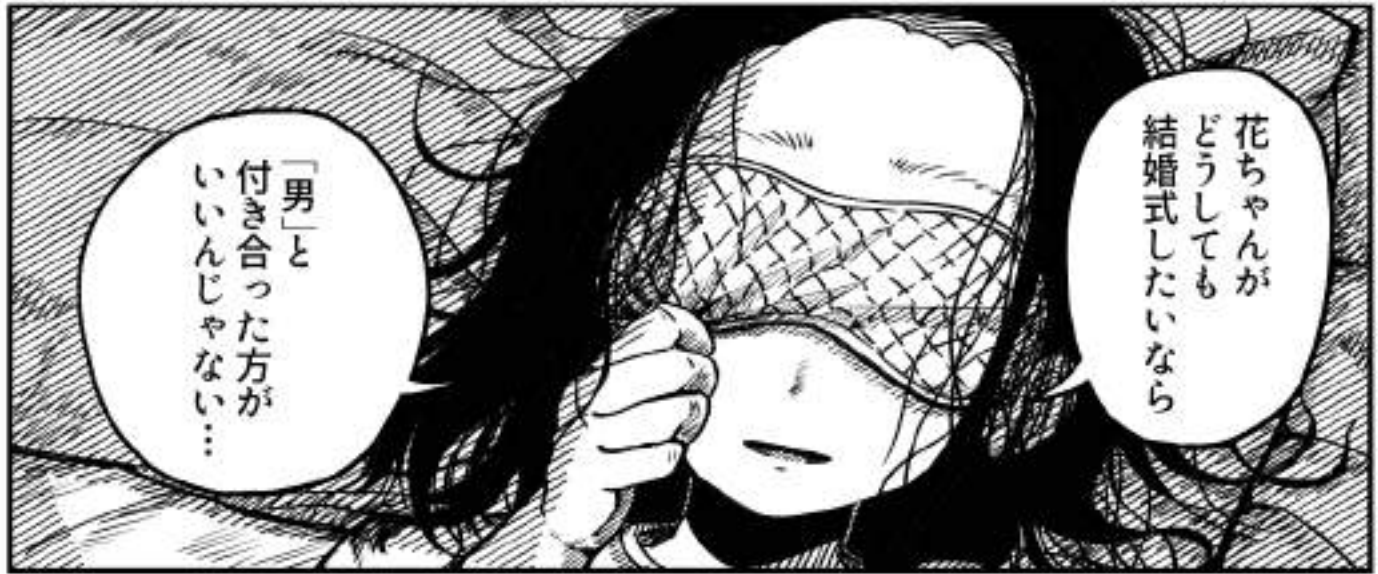
結婚式したって
何も変わらない

そもそも
結婚できない
んだし



「女2人で
ルームシェア」

これが一番
面倒ごとが少ない
形じゃん





この暮らしを
忘れてさ


：風俗の事も
黙ってれば

きっとすぐに
結婚式できるよ

おやすみ







女ツ子は
腹冷やしちや
だめだかな

短期留学？
あぶねえべ

そろばん塾でも
行ったらいい

ほら菊池の
奥さんが
教えてる…

あの奥さんは
節約上手でなあ

普通が
一番
幸せだからね

部活なんて
入らなくて
良い



あんまし
夜に出歩くと
オオカミに
襲われるからな

花ちゃんが
小さい頃お世話に
なった人だよ

ほら
拭いてやって

あすこの家の
連中とは
付き合わない
方がいい

うちの娘で
よければ

男誘うような
下着なんて
いつ買ったんだ

代わりのを
買っておいた
からね



高校生が
産婦人科に
何しに
行ったの

ご近所さんが
見たって

生理痛？
ピル？
そんなの誰も
使ってないよ

花はおめは
恥晒しだ

同性が
好き？

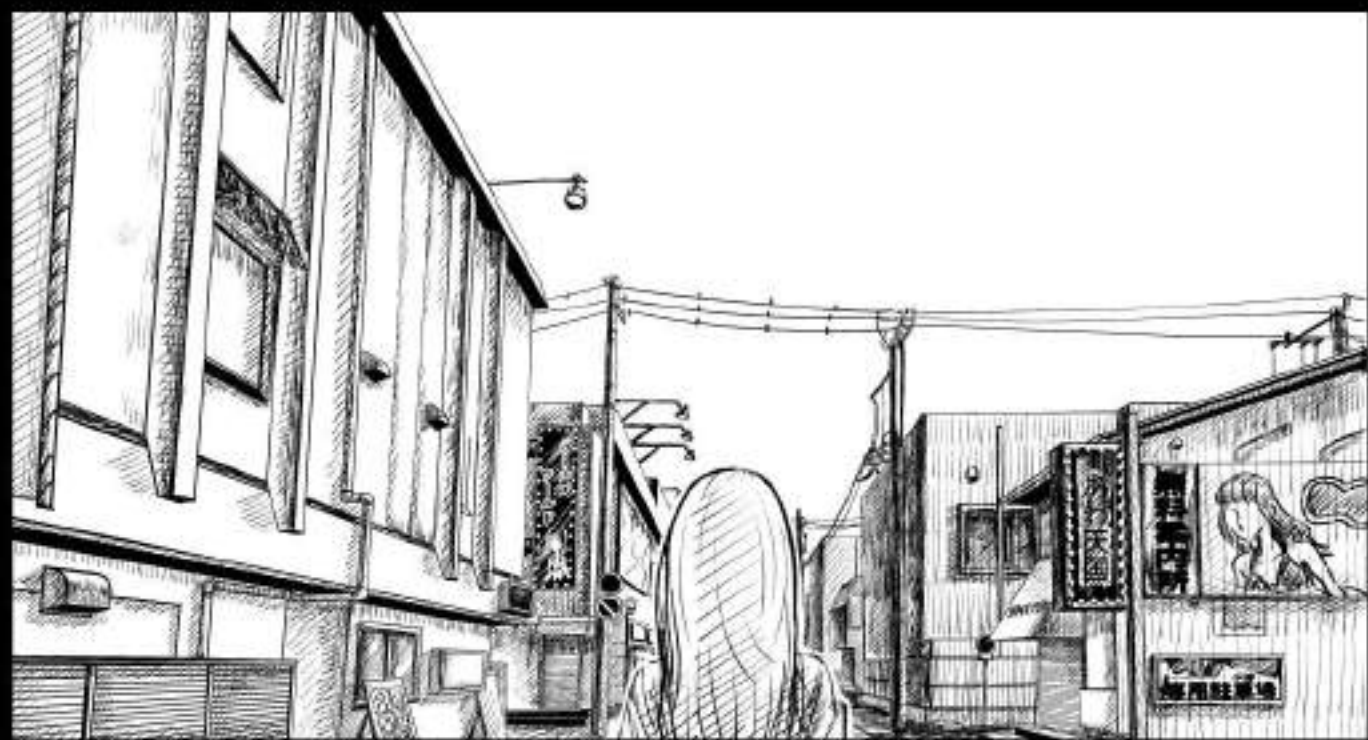
花、
ふざけないで

子供産めば
生理痛は
なくなるさ

立派なご両親に
大切に
育ててもらって

あなたは
何が不満
なんですか





私は...
そうじゃなくて



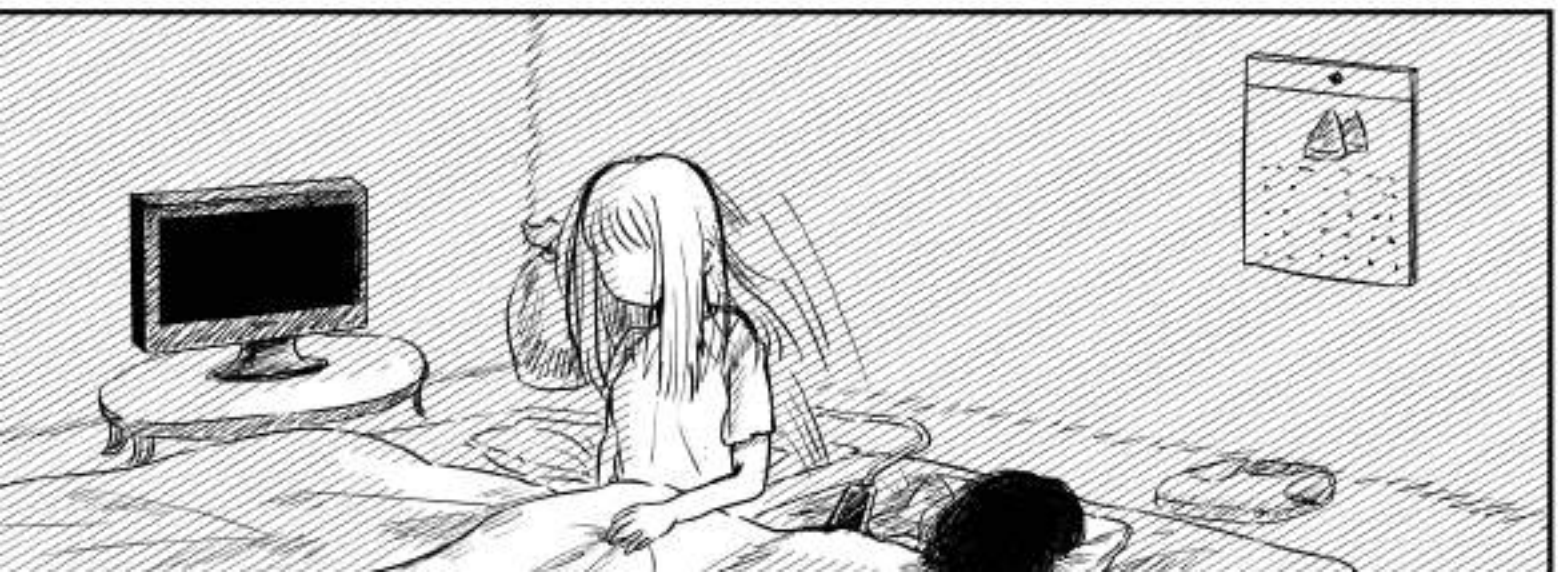
気付いたの



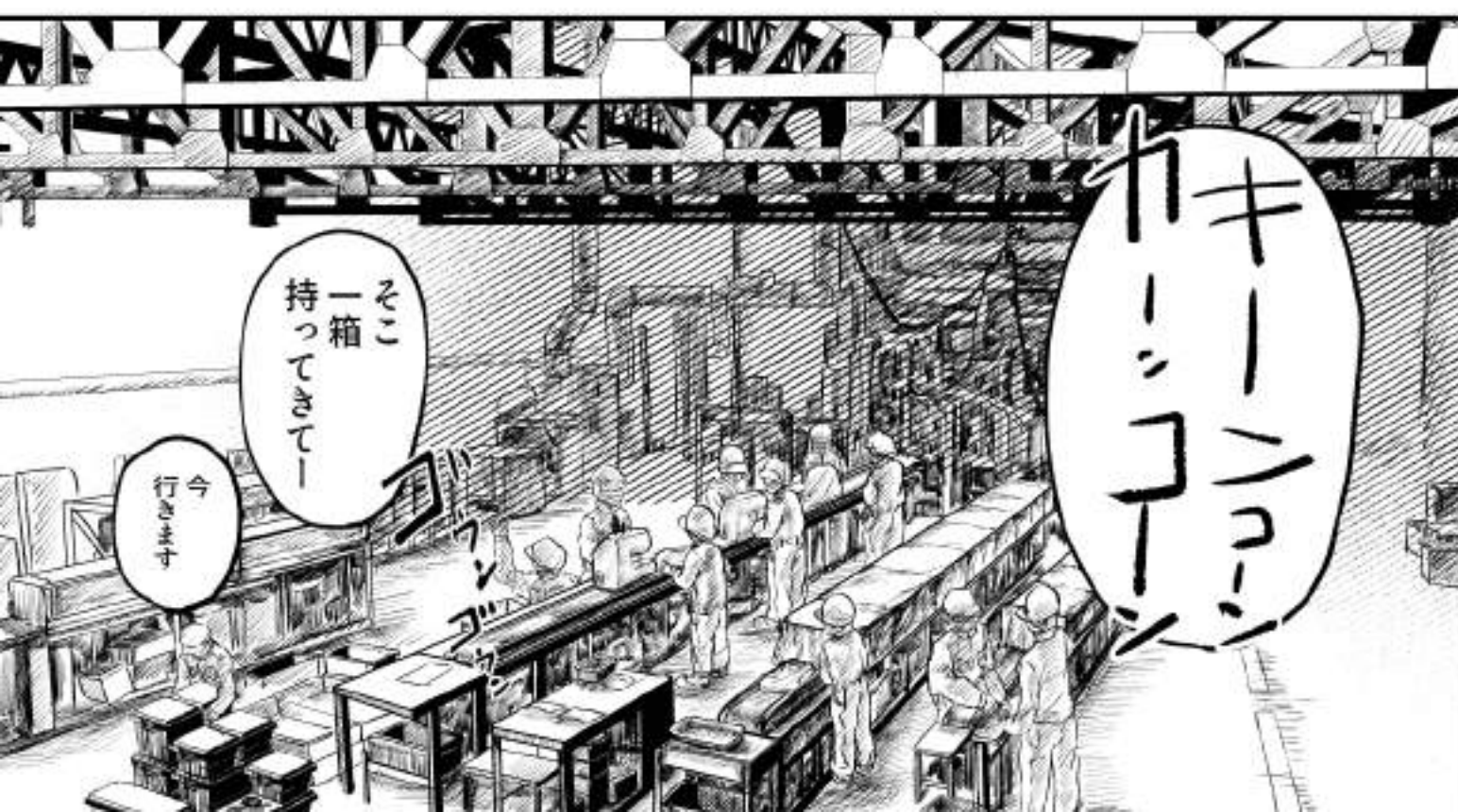
違う

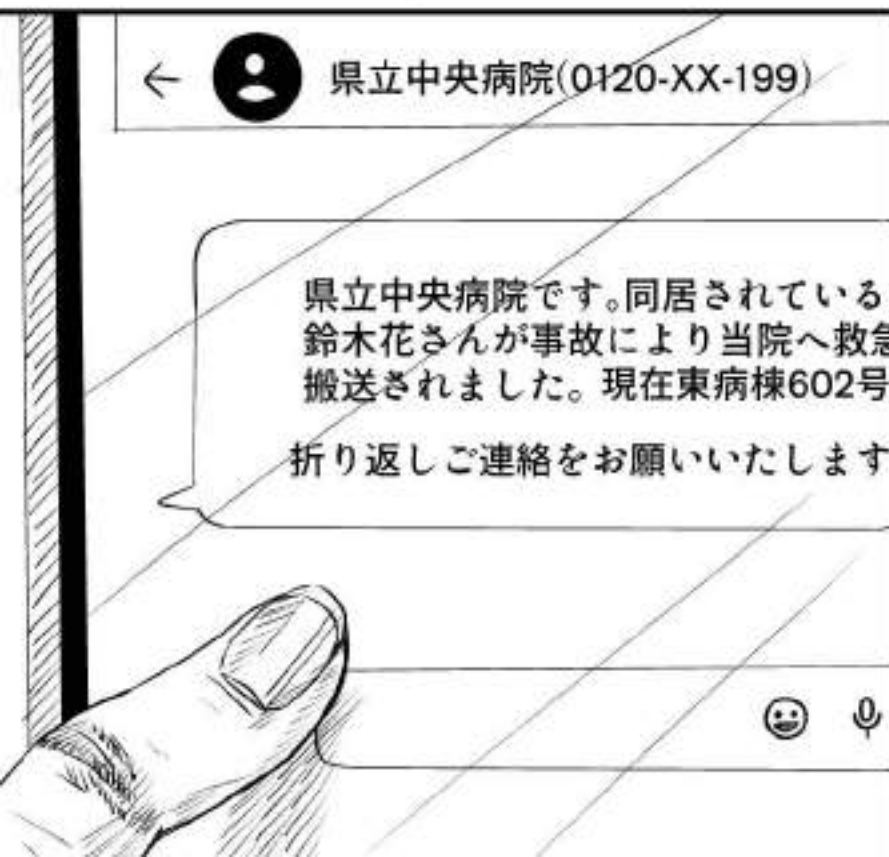
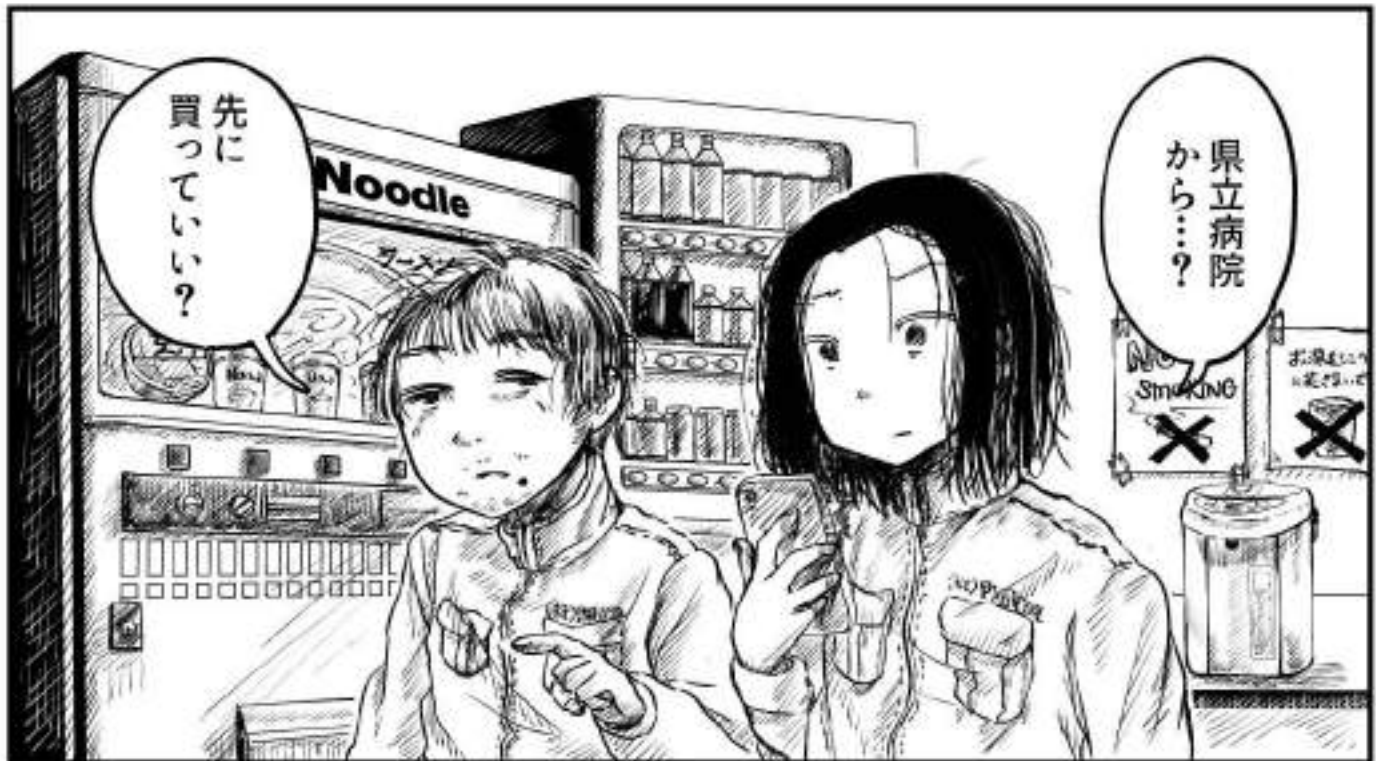
未来の夢...
あゆみさん

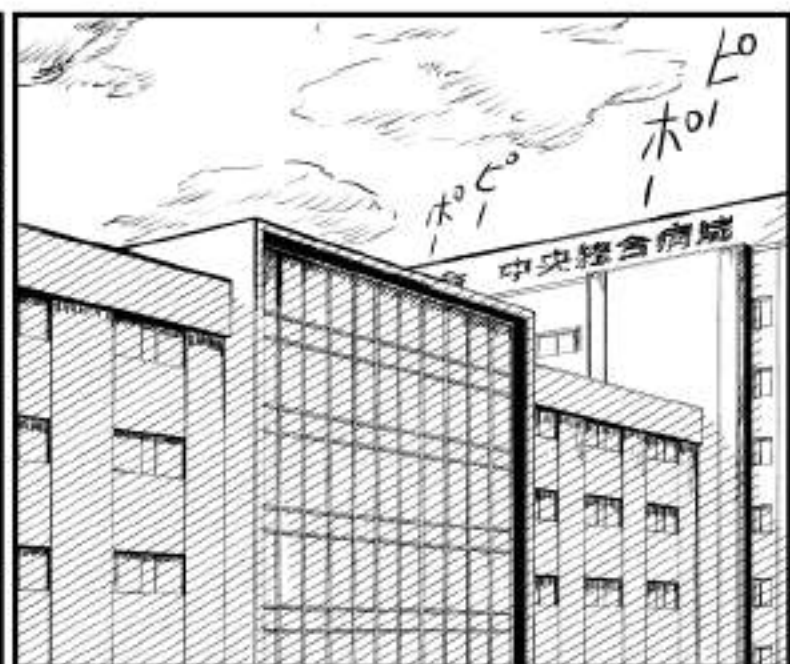
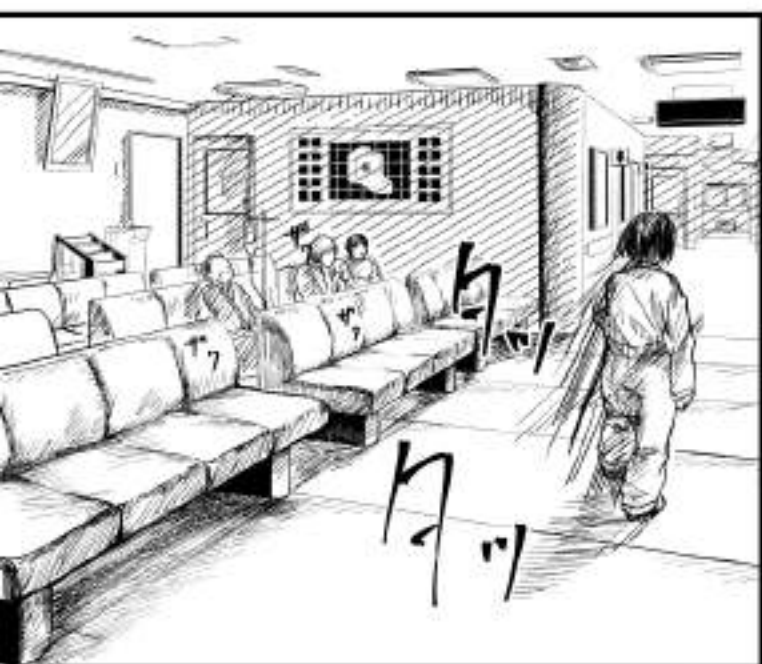
黙って
いよう

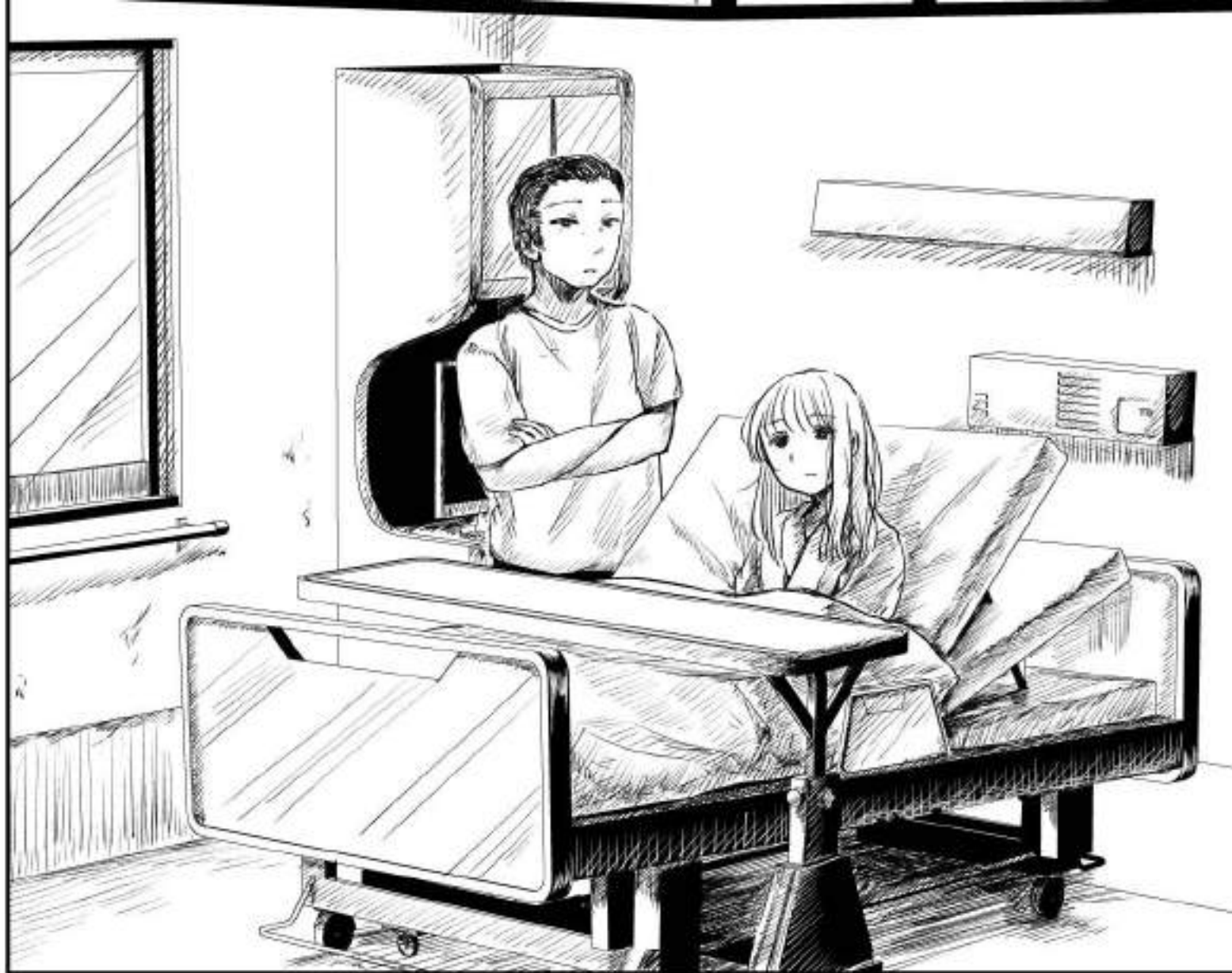




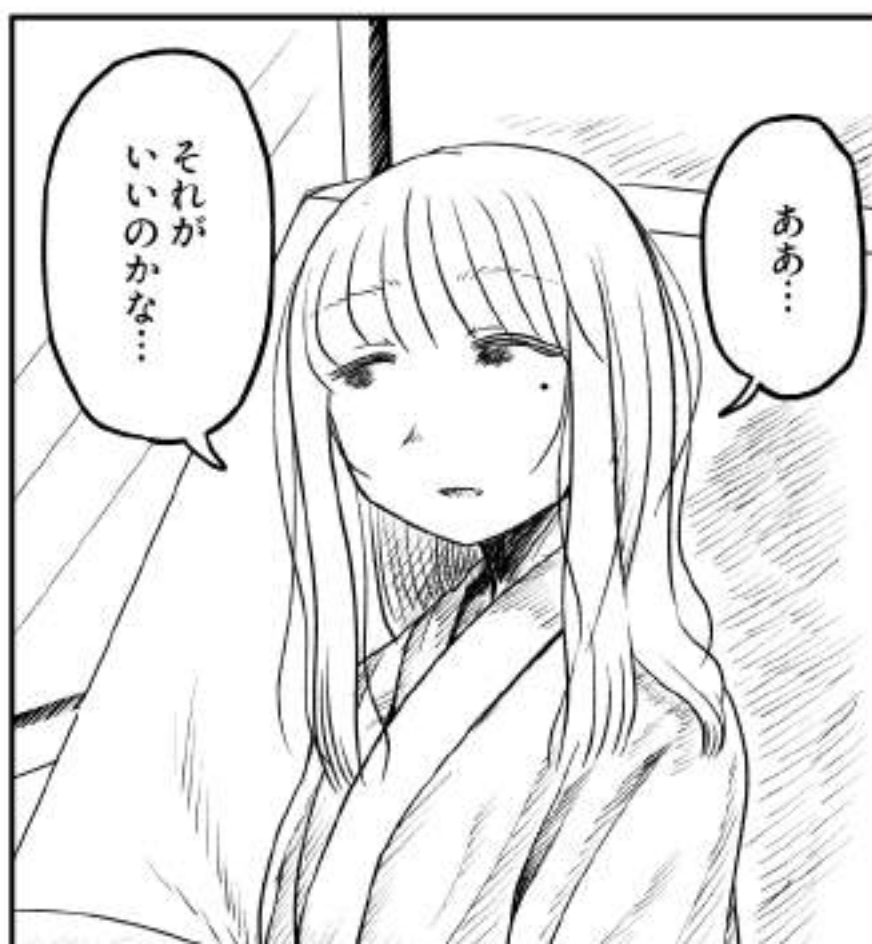


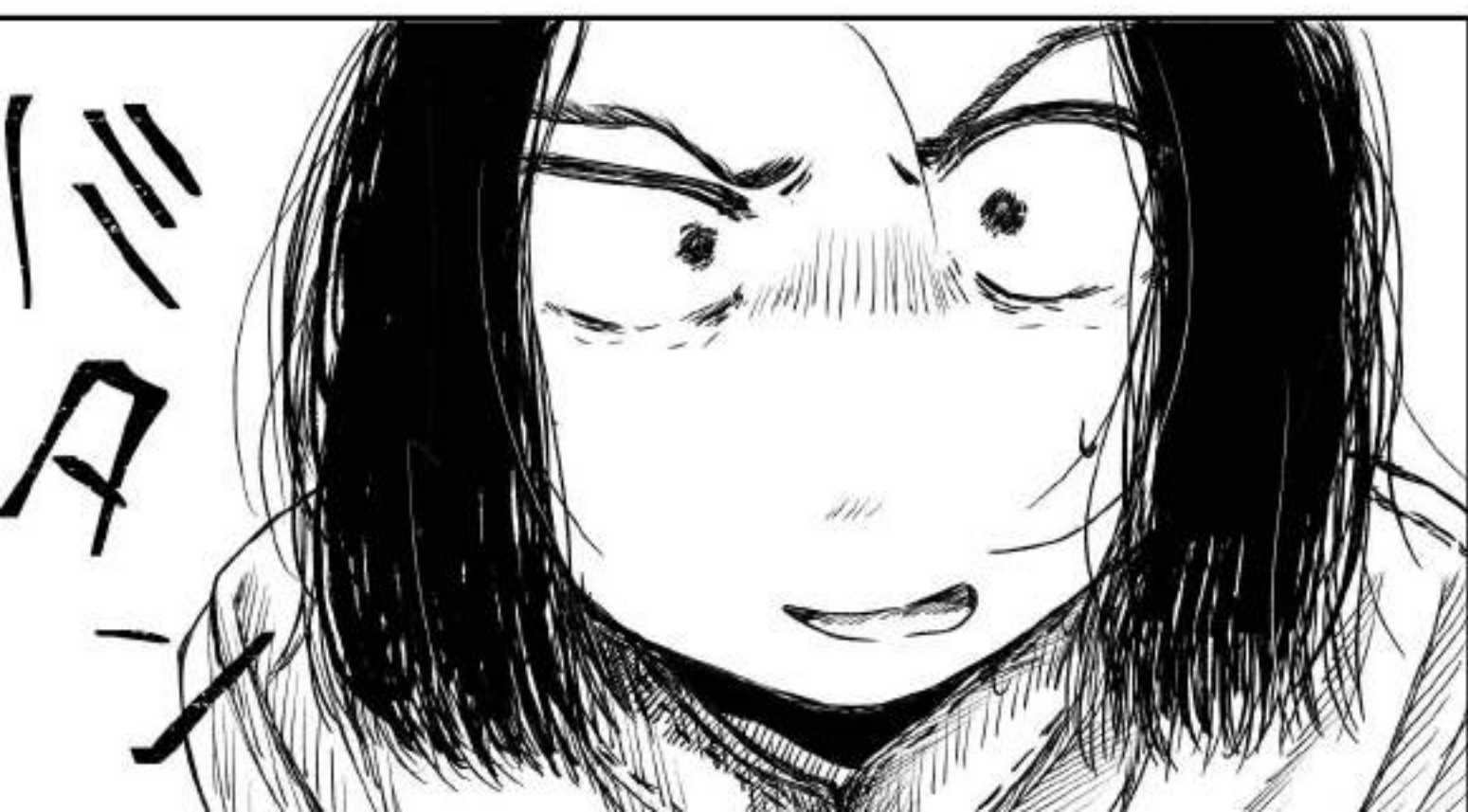


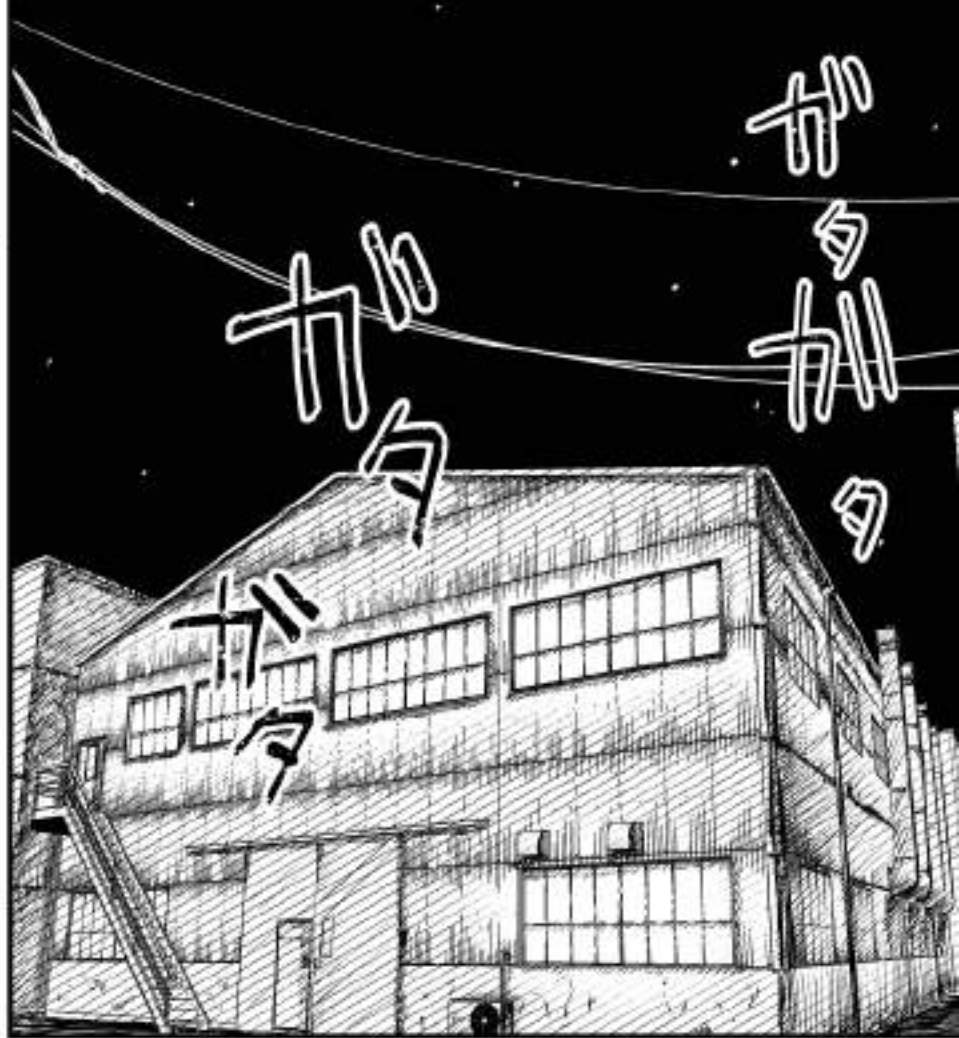




















この部屋だって
名義人の私が死んだら
花ちゃんは追い出される

会社に理解も
してもらえて
看護休暇も
取れる

子供産めば
奨学金減免も
検討中なん
でしょ？

なんか
生きていけそうな
感じがするじゃん

でも

異性と結婚すれば
家も借りやすいし

どっちかが
体調崩したら
扶養に入ること
だってできるし

「他人」の私は
無力なんだと
1秒1秒
思い知らされる





だったら
全て
無かったこと
にして

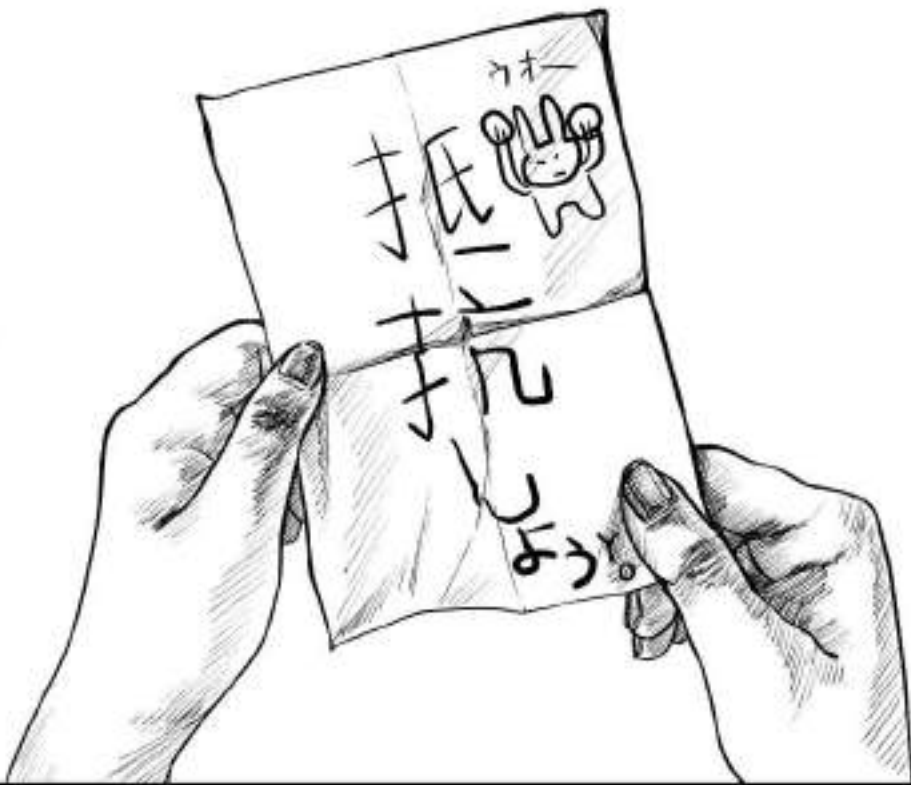
普通に、
普通に幸せに
なった方が...

%

ソ
ク
ッ



後で読もうと
思ってた…



あおいはさ
「普通の幸せ」って
よく言うけど

そんなもん
幻想だと思うよ

「普通の幸せ」に
守られていたのは



「私」じゃなくて
「娘」だったよ



「私」じゃなくて
「子宮」だったよ

私じゃなくて



何か
おおきな
制度のような

「家庭」
だった





…これが
私の抵抗

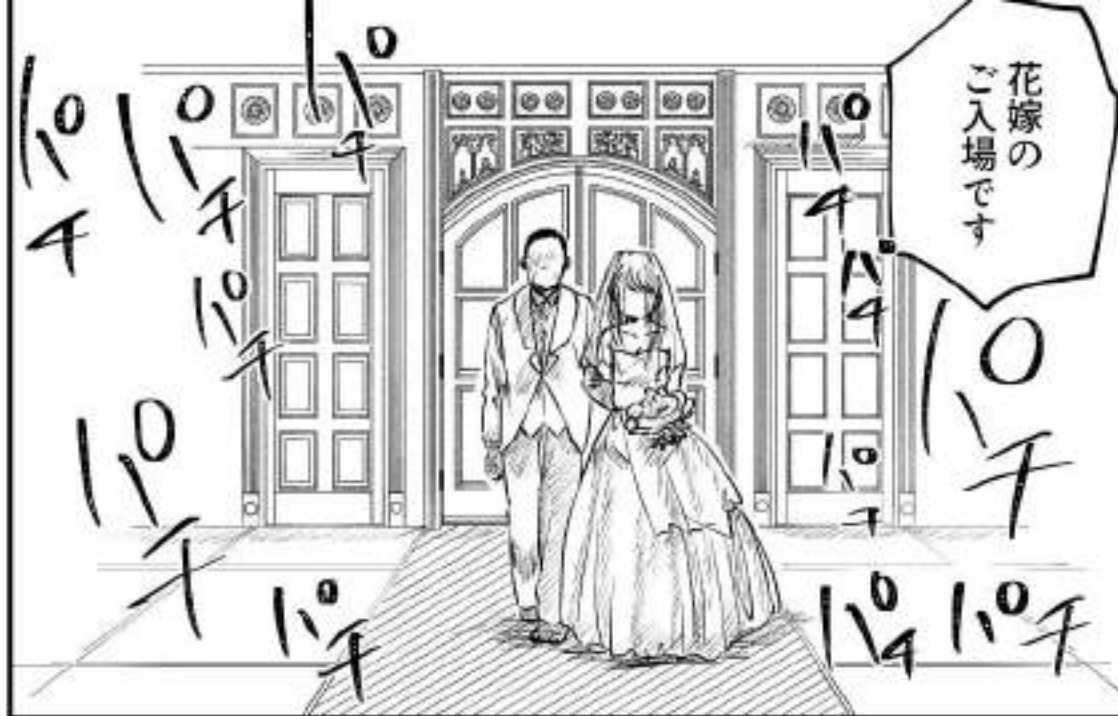


あおいは？



あおいの
抵抗は？





花嫁の
ご入場です



「ヴァージンロードは、
父親の元から
花嫁の元へと向かう
神聖な道」



「純白の
ヴェールは
純潔の証」



「ファーストバイトは
一生美味しい料理を
作りますという気持ち」

「ケーキに乗った
フルーツは
子宝の数」

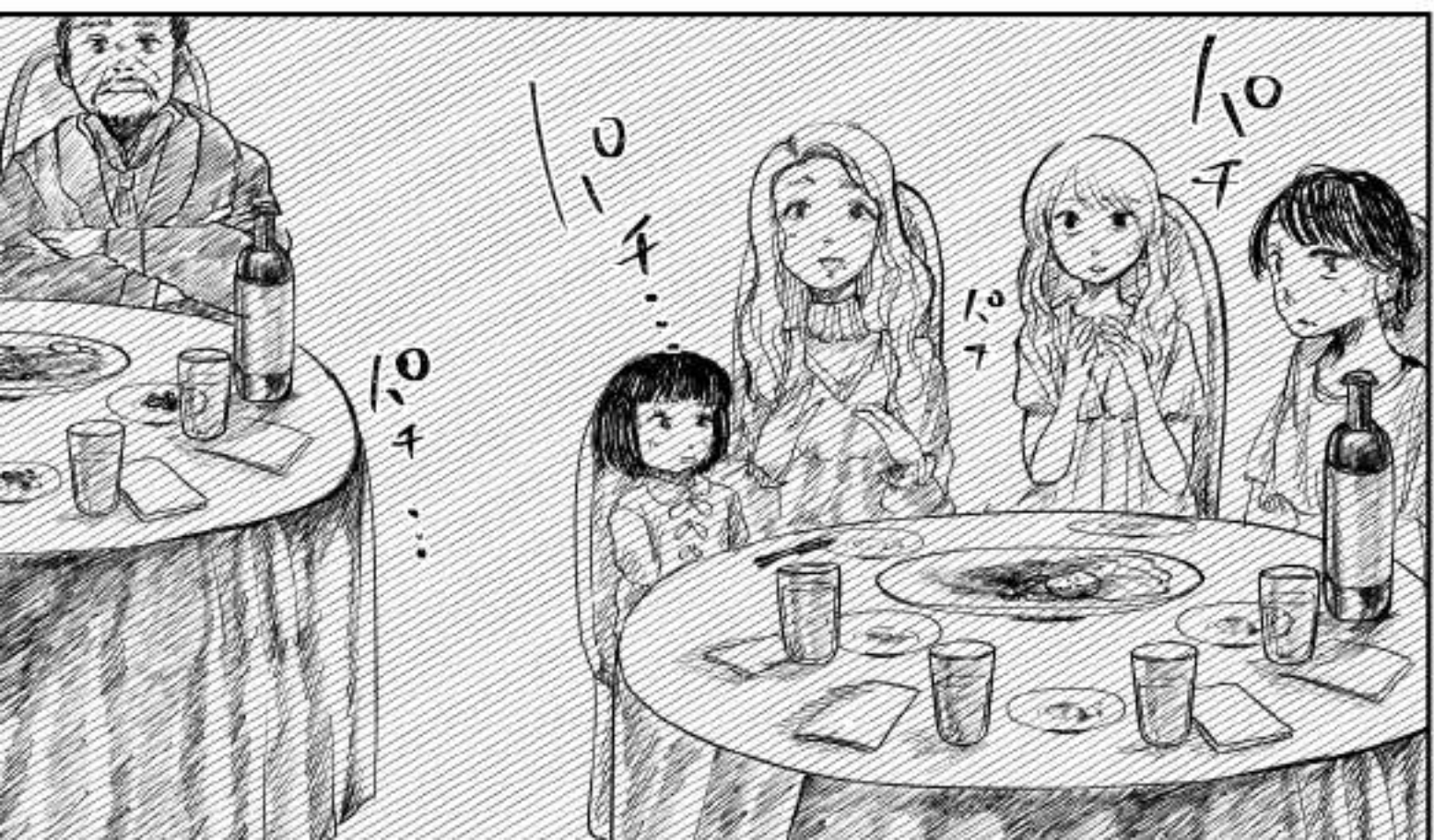
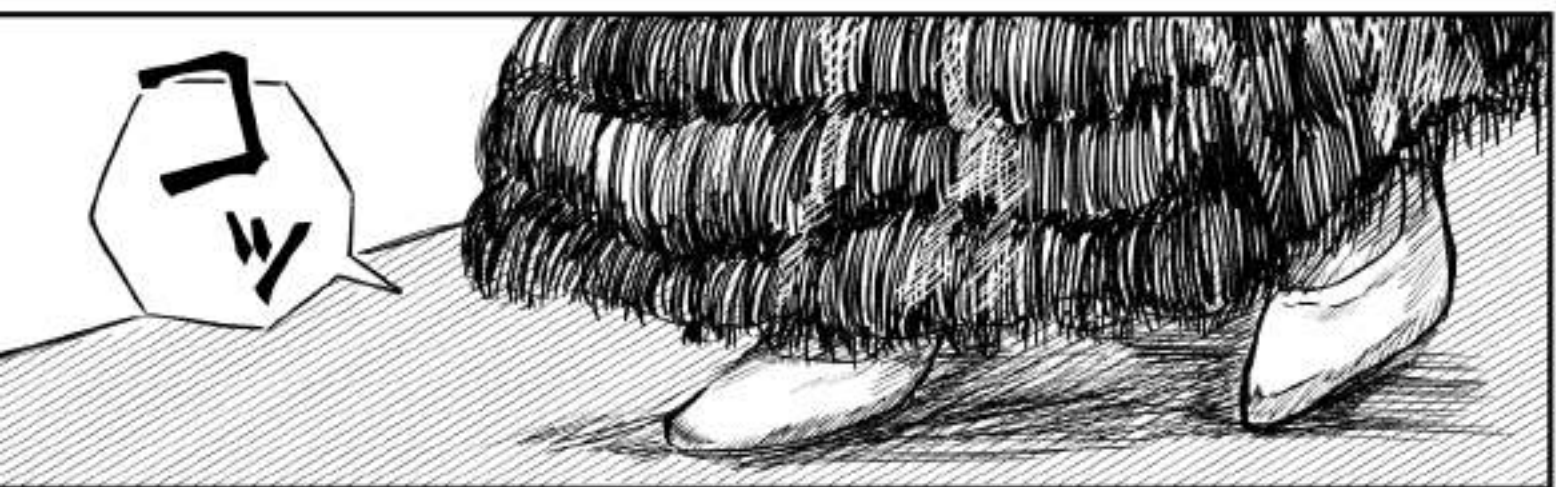


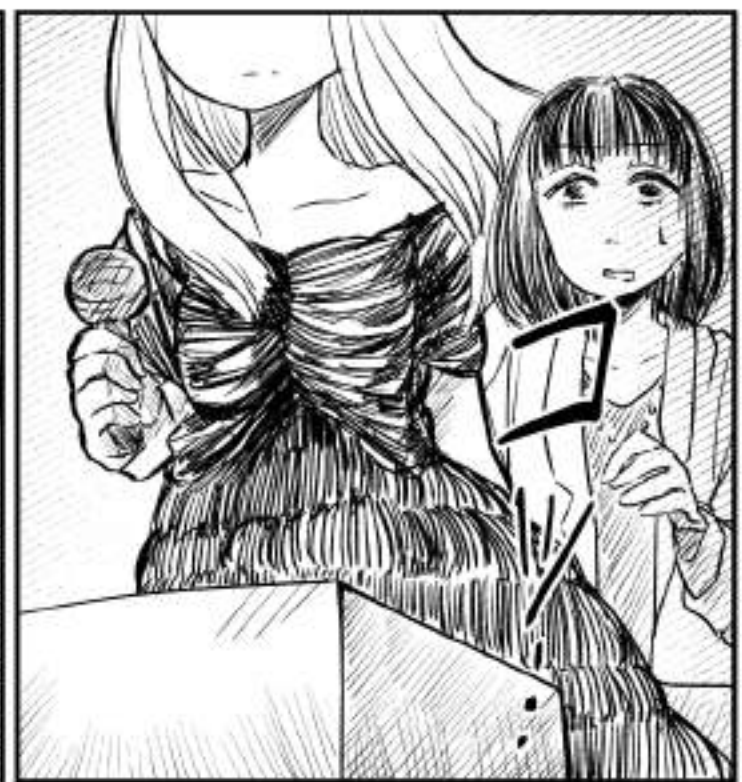
続きまして
ケーキ入刀
です



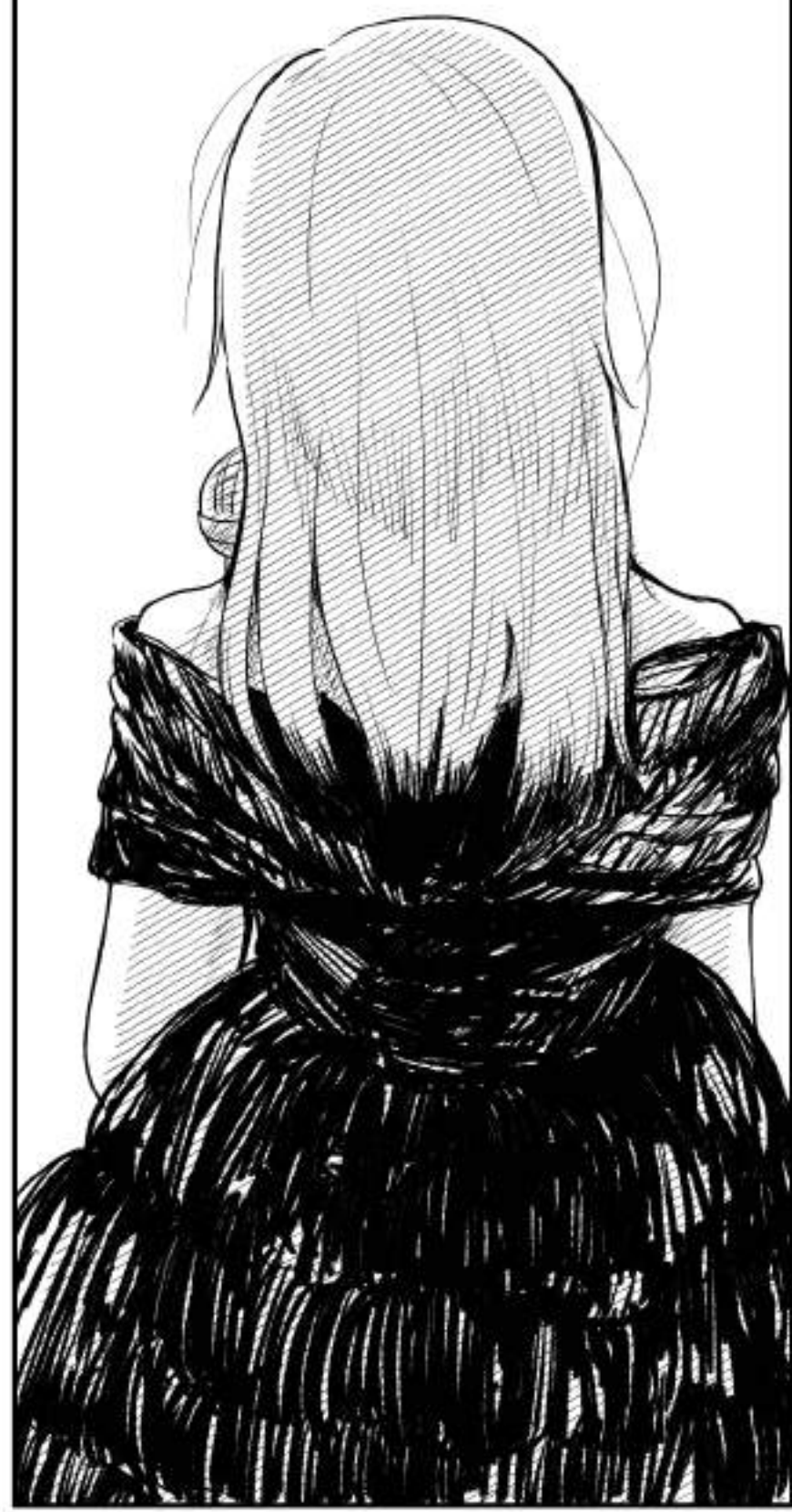








私は
レズビアンで
風俗嬢です



これまで
私は

他人の
幸福を邪魔
しませんでした



ご祝儀送って
おめでとうと
笑って

：
なんだ？

私には
できもしない
祝いに
耐えました



だから
今日は
私の番





父さん、
私はね



私たちの
人生を漂白する

全ての規範に
抗うと
決めた









